

# 増税ストップ、暮らし・子育て、羽田低空飛行計画撤回をはじめ、訴えた公約実現めざして頑張ります

――九年港区議選の結果について

2019年4月23日 日本共産党港地区委員会

一、4月21日投・開票でたたかわれた、統一地方選挙、港区議会議員選挙で、日本共産党は、「1人増、現有4から5人の区議団」をめざしてたかいましたが、3人の当選にとどまりました。

残念な結果であり、痛恨の極みです。

ご期待にこたえることができず、申し訳ありませんでした。

日本共産党と5人の候補へのご支持をお寄せいただきいたみなさん、日本共産党候補勝利のために、日夜ご奮闘、支援をいただいたみなさんに心からの感謝を申し上げます。

二、区議選のなかで、日本共産党と候補者は、安倍・自公政権の消費税増税・国保の値上げ、憲法9条改憲、など暴走政治を止める」と、区政では、1480億円のためこみ金を区民のために活用する「予算で・くらし・福祉充実の提案」、国土交通省が計画している危険な「羽田低空飛行案」の撤回などを政策・公約としてかかげ、「支持を訴えてきました。

私たちが訴えた、消費税増税・国保の値上げストップをはじめ安倍・自公政権と対決する論戦と提案、区政・くらしの公約は区議選での争点を明らかにするうえで重要な役割を果しました。

この間、党区議団は、「提案型」の活動を追求し、予算修正案や条例提案を繰り返しあいません、豊かな実績をつくりましたとも訴えてきました。党と候補者のこれらの政策・公約と訴え、「提案型」の活動はこれから日本の日本共産党と港区議団の活動にもおおいに生かし、区民の願いの実現をめざして、みなさん之力を合わせてまいります。

また、前回の区議選からの得票・議席減の結果を真剣に受け止め、教訓を深め、区政での日本共産党の役割を發揮するうえに生かしてまいります。

三、区議選と同日に行われた沖縄3区の衆院補欠選挙では、自民党候補が「辺野古推進」をかかげてたたかいましたが、「オール沖縄」の屋良朝博候補が勝利し、「新基地ノー」の決定的審判が認めされました。大阪12区で無所属候補としてたたかつた宮本岳志前衆院議員は及びませんでしたが野党と市民・ボランティアが肩を並べてたたかい、今後の市民と野党共闘の発展への財産となりました。一つの補欠選挙でいすれも自民党候補が敗れたことは、安倍首相の「強権・暴走政治」、「国政の私物化」にたいする「ノー」という国民の痛烈な審判です。

夏の参院選は、「市民と野党の共闘」を本格化させ、「安倍政治にサヨナラ」をする歴史的なたたかいです。このたたかいで、野党の勝利、日本共産党の躍進をめざして全力で頑張ってまいります。

みなさんのご支援の支援をお願いいたします。

## 日本共産党 候補者の得票と結果

■風見利男  
1230票・当

■熊田ちづ子  
1725票・当

■福島宏子  
1553票・当

■いのくま正一  
1088票

■野口ひろき  
883票



みなと民報

	改選前議席	立候補数	当選者数	得票数	得票率%		改選前議席	立候補数	当選者数	得票数	得票率%
共産	4	5	3	6479	9.53	維新	1	1	1	1639	2.4
自民	12	14	11	23672	34.8	社民	1	1	1	1475	2.17
立憲	3	4	3	5567	8.18	都ファ	1	2	2	3230	4.75
国民	2	2	2	2667	3.92	諸派	0	3	0	1871	2.79
公明	6	5	5	7359	10.82	無所属	4	17	6	14019	20.62